

(無料配布)

大豊村議会の秋山土木委員長外八名の議員は、岡山県茶屋町、同じく西大寺町の議会議運管、組織構成その他を視察の爲十月十五日午前十一時に出発し一泊二日の日程を以つて十六日の夜帰村した。

島崎治重氏、藤村義光氏を訪れて色々お話を承りましたのでこれをまとめて御紹介いたします。西土居部落は吉野川と南小川に挟まれた平地の少ない農を主とする部落であり其の世帯数二五〇人口約一三〇人非農家一五世帯約五〇人位の小さい部落である。これに共興部落まであり吉野川には長丁口橋があり国道と結び南小川には豊永橋があり東豊永地区と結び豊永駅へ数分に到る交通に恵まれた便利な土地であります

西豊永の略中央に位置する此の部落は旧村より行政の中心地であり旧村役場(現西豊永支所)、西豊永農協、森長村協議会、組合長豊永秋美、食糧事務所豊永出張所(所長豊永豊)共済組合(組合長第二助役小笠原薫光、並に校長吉川喜美)等の所在地であります。亦名勝龍ヶ森の登山口であり此所より登山する者は年間推定一万五千人に及ぶそうです。処がこの様に村の中心であり乍ら比較的に発展を見ているのではないのは不思議に思われますがこの大きな原因は第一に地形によるものであります。しかし上村医院あるいは京楽の技術を誇る土地の紺屋あるいは尾立製材所、大木村会社などは又春の家旅館の発展に寄与せられて居ります。

此の部落のことで聞いて一寸奇異に感じたことは此の小部落に氏神様が二つあると云うことです其の一は中須地に住む氏を氏とする来果神社(祭日十七日)と牛飼野住民を氏とする山脈神社(祭日十七日)とがあることです。がそうかと思うと氏はいずれも東土居部落と同一で西土居東土居部落

本村消防団連合演習 落合河原に七彩の虹

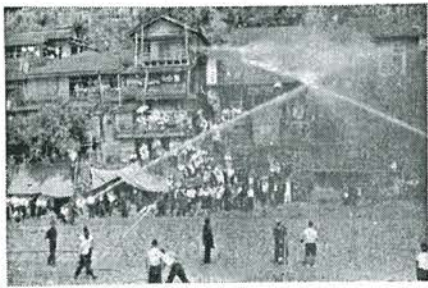
大杉、大田口、大久保が優勝

消防精神を養い消防技術の向上をはかるため、本年度の大豊村消防団連合演習が、落合の河原に於て、去る九月八日に行なわれた。台風十二号の接近で雲行きは、かなり怪しかったが、さしたる雨もなく午前九時より開始された。

開会式後、十一時より、十三分団、団員三百四十人を以て十七の動力ポンプを以て一斉放水を行った。ち、板送り競技に入つた。ポンプ位置より五米後方に集合し、進行係近藤氏の號誌による合同と共にポンプを持ち、二十米前方の川迄、前進し機敏な動作で吸水、息づまる熱戦が展開された。

試合終了後、元の隊形に集合し、優勝旗及び賞状の授与があり、本山警察署松村署長の「極めて良好であつた」旨の講評があつて解散した。

成績及表彰者氏名次の通り。



村内のおとしより

セ、一〇才以上

- 九月十五日の「おとしより」及び「おとしより」の福社「おとしより」にちなんで各地では、いろいろな行事を行つたが、村当局からも七〇才以上の「おとしより」記念品を贈呈して慰安し、又九十才以上の方々には紅白のマリニッショを贈つた。老人は次の通り。
- 上池松(91) 大滝
秋山教馬(91) 石堂
- 九月十五日の「おとしより」及び「おとしより」の福社「おとしより」にちなんで各地では、いろいろな行事を行つたが、村当局からも七〇才以上の「おとしより」記念品を贈呈して慰安し、又九十才以上の方々には紅白のマリニッショを贈つた。老人は次の通り。
- 上池松(91) 大滝
秋山教馬(91) 石堂

村の足跡

- 九月 境界変更による土佐山田町との引越。三日 大豊村金庫業務開始。四日 村青年団婦人会公民館合同協議会。五日 村内小学校長会。六日 大豊村PTA総会。七日 農業委員会。八日 村連合消防演習。九日 度量衡検査。十一日 監査委員会。十二日 選挙管

新會長に 佐々木義美氏



大豊村PTA連合会

本村PTA連合会(会長、溝淵遊龜氏)は、去る九月五日午後一時より役場会議室に於て本年度総会を開催。溝淵遊龜会長、渡辺副会長の両氏辭任に伴い、会長に副会長三名の役員改選を行つた。

役員改選の結果、会長 佐々木義美(東寺内) 副会長 杉本 恒章(久寿軒) 三谷進一郎(久寿軒) 吉川 永晴(怒田)

各氏が決定し又監査として松岡勝英氏(穴内)岡田忠孝氏(高須)が選ばれた。

次に大豊村の高校通学区変更に対する意見が、土長教組書記長門田章氏、高校教組長信清功氏より述べられた。

校通学区変更

たし全員入學制と高校一校新設を支持するものである。更に定時制高校を大豊村に新設すべく格段の留意と実現に努力すべきである。以上の線が強く打ち出された。

会議は午後四時半閉会。

村民運動会は各

本年度の村民運動会は、全村的に地区別と意見が、過日の各団体代表者会議に於て、従来通り各地区別に開催されることになった。

自衛官募集

受付期間 九月一日(土) から十二月十五日(土)まで
(本年度の募集は今回で終ります)
志願手続 役場厚生課又は各支所で志願案内を見た上、同課又は支所に申込みのこと
試験 一月十八日(金) から一月三十一日(木)まで身体検査及簡単な筆記試験、口述試験を各人一日で行う。
入隊 三月下旬の予定
資格 昭和七年三月二日昭和十四年三月一日までに生れた男子で新制中卒程度の学力を有する心身健全なものである。
待遇、被服、食料支給、管内(管内)居住、最初は二等陸海空士として採用するが順次昇進の途あり。

青松園慰問 十一月頃を 予定

村婦人会では、かねてより計画していた青松園の青松園慰問に去る九月二十六日午後一時より役場会議室に於て、折悪しく台風接近の報によりその日は中止となり協議の結果三十日に出発することになった。今日の出発は未決定であるが、舟便の都合がつかない大凡十一月頃出発の予定と云われている。

村連青卓球大会 団体一位は 天坪 A

村連合青年団主催による卓球大会は九月三十日、穴内公民館で行なわれた。参加チームは各地区団から三チーム(内一チームは女子)が参加して午前十時過ぎから午後五時近くまで熱戦を展開した。

男子の試合方法はトーナメント法で、女子はリーグ戦で行い、個人戦は各チームより三名出場、トーナメントによりそれぞれ次の通りの成績を挙げた。

団体一位 天坪 A
二位 天坪 B
三位 大杉 A B

女子団体一位 穴内
二位 天坪
三位 西豊永

男子個人一位 小松英昭(角茂谷)
二位 上村文子(穴内)

役場職員会 寒霞溪に旅行

大豊村役場職員会(会長松高豊繁氏)では、香川県安芸見学を兼ねて、香川県小豆島寒霞溪及び高松市内、屋島、栗林公園等に泊二日の予定で旅行した。

参加する職員四十六名は、A組十七名、B組二十九名にわかれA組は十月六日午前一時夜行列車で出発、七日最終列車帰村B組は、同月十三日出発、十四日に帰村した。

大豊村写真コンクール

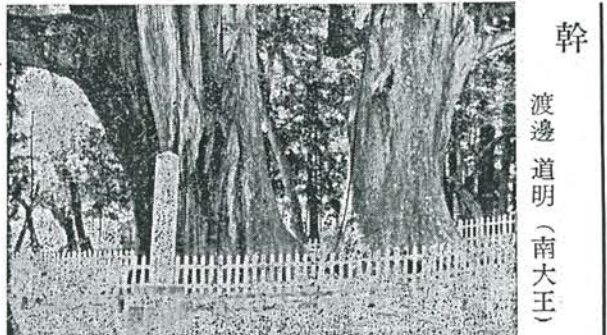
大豊村中央公民館主催による写真撮影コンクールは、九月二十九日に行なわれ、多数の傑作写真が寄せられたが審査の結果、本紙に発表してある通り入選作が決定した。(人物の部は二面掲載)

杉の大杉の部は、五枚一組をもつて入選することにしてあつたが、一人の作者での組写真では入選作が無く、結局提出された全作品につき合わせ、各都毎に審査して五枚一組を構成しそれに入選した各部一枚に対してそれぞれ賞金を贈つた。

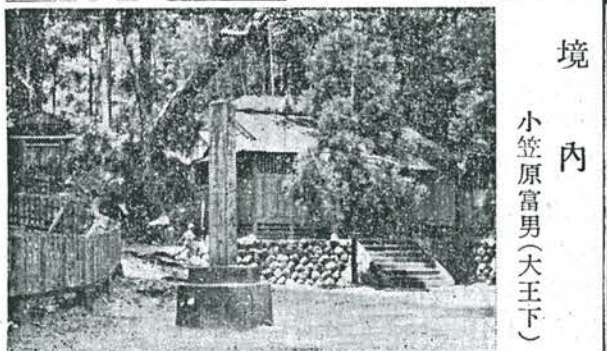
従つて入野武雄氏(杉)より贈られた見事な優勝賞金は、公民館に預りとなつてゐる。



参道 小笠原博三(大王下)



境内 小笠原富男(大王下)



幹の部分 小笠原博三(大王下)



全 三谷 幸雄(落合)



幹の部分 小笠原博三(大王下)

